

基本理念

物資仲介とは、企業・団体等より寄贈の申し出を受けた食品・物品等(以下、「寄贈品」という)を、こども食堂に届ける活動です。寄贈品を安全に、かつ公平に、こども食堂に届けることを第1の目標とし、こども食堂を応援したいと思う多くの人たちが、その支援を通じて未来をつくる社会活動に参加することで「だれも取りこぼさない社会」の実現を目指します。

1

公平性

むすびえは、食材や物品等の支援情報を、公平に、全国の地域ネットワーク団体に提供します。

むすびえがつながる地域ネットワーク団体(※)が登録されているメーリングリストを通じて、支援情報を届けています。

寄贈者から「特定の地域限定」等の格別のご要望等がある場合を除き、特定の地域や開催形態に関わらず、広く情報を案内しています。

こども食堂の希望数が寄贈品の数を上回る場合には、寄贈者の要望等がある場合を除き、厳正な抽選を行うものとします。

なお、個々のこども食堂、地域ネットワーク団体ともに、むすびえと上下関係や本部支部関係(登録制・加盟制)に立つものではなく、むすびえにとっては信頼関係に基づく対等なパートナーです。

2

寄贈者及び受贈者の意思の尊重

むすびえは、寄贈者および受贈者の意思を尊び、信頼関係を大切にして、寄贈にかかる利害を調整し、利便性を測ります。

むすびえは、寄贈者の寄贈にかかる意思を尊重し、寄贈を申し出た思いや経緯、寄贈品の数量、配送単位、寄贈先地域等の選択を尊重します。

むすびえは、受贈者となるこども食堂や地域ネットワーク団体の希望や最終利用者における需要、保管場所のキャパシティ、受入態勢等に十分に配慮したうえで、募集や提案を行います。また、寄贈品を受け取るか否かは、こども食堂や地域ネットワークに選択権があることを、ここに確認します。

3

安全性の確保

むすびえは、寄贈者に対し、受贈者が寄贈品を受領するまで、寄贈品の安全性が確保されていることを求めます。

安全性が確保されているとは、保管・配送において、寄贈品の性質に応じた通常有すべき品質を保持した状態であることをいいます。

寄贈品の保管・配送において、特別な配慮(主に冷凍、冷蔵等)を必要とする場合はその情報を収集・整理し、受贈者が適正に利用できるような正しい情報を伝えます。